

# corega CG-WLBARAGM **らくらく導入ガイド**



このたびは、「CG-WLBARAGM」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は、本商品でインターネットに接続するまでの手順を紹介しています。本書と付属の「Q&A」をあわせてご覧になり、正しい設置・操作を行ってください。

## このCD-ROMを使うと...

- インターネットをはじめるための設定がかんたんにできます。
- 「同梱品一覧」や「各部の名称と機能」がご覧になれます。

本商品には「かんたんスタート」CD-ROMが付いています

## はじめに、次のものが同梱されているか確認しましょう

- |   |   |   |
|---|---|---|
| <input type="checkbox"/> CG-WLBARAGM 本体       | <input type="checkbox"/> ACアダプタ         | <input type="checkbox"/> かんたんスタート (CD-ROM)      |
| <input type="checkbox"/> スタンド                 | <input type="checkbox"/> スタンド固定用ネジ×2    | <input type="checkbox"/> 壁掛け用ネジセット (アンカ×2、ネジ×2) |
| <input type="checkbox"/> LANケーブル (1.8m)       | <input type="checkbox"/> らくらく導入ガイド (本書) | <input type="checkbox"/> Q&A                    |
| <input type="checkbox"/> 安全にお使いいただくためにお読みください | <input type="checkbox"/> 電波干渉注意ラベル      | <input type="checkbox"/> 製品保証書 (1年)             |

※万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

## 1 無線ルータ (親機) をパソコンとモデムにつなぎます

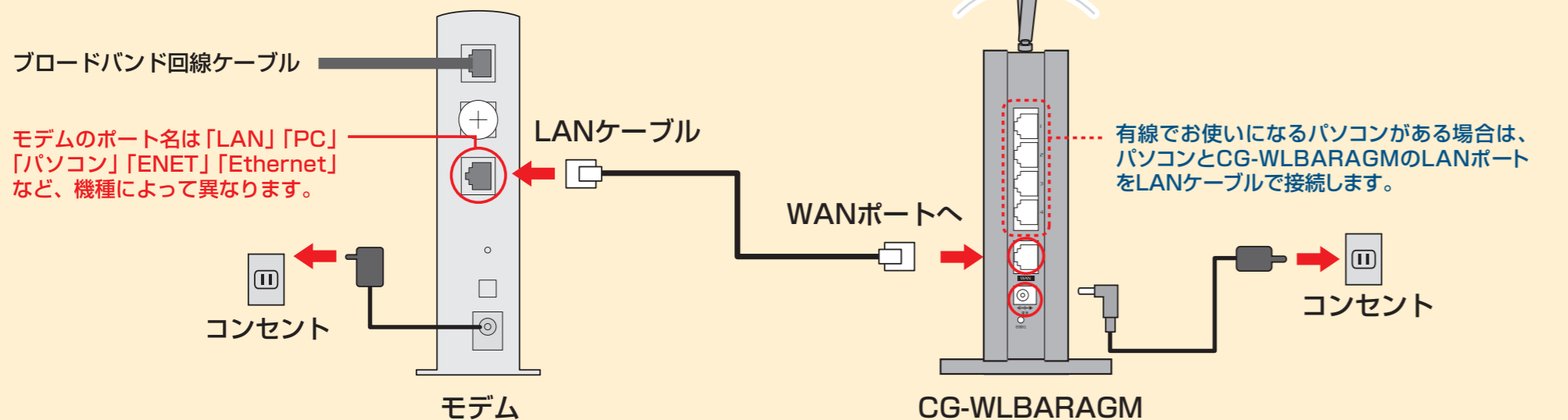
次の図のように、無線ルータをパソコンとモデムにつなぎます。

### 接続図

本商品が起動するまでにおよそ1分程度かかります。その間STATUS LEDが一度点灯しますので、消灯するまでしばらくお待ちください。

### 1 LANケーブルを、CG-WLBARAGMのWANポートとモデムのLANポートに接続します。

ブリッジ接続でお使いになる場合は、CG-WLBARAGMのルータ機能をオフ(裏面④-⑥)にしてお使いください。



### 2 本体にACアダプタを接続します。

### 注意

本商品をお使いになる前に、モデムにパソコンを接続して使用されていた場合は、モデムの電源を切り、30分ほどたってから接続してください。

## 2 お使いの環境に合わせて親機と子機を接続します

環境により設定手順が異なります。次のフローチャートで手順を確認してください。

### 無線接続

#### ● コレガの無線LANアダプタを使用している場合

お使いの無線LANアダプタの取扱説明書をご覧のうえ、「コレガ無線LANユーティリティ」でESSID「corega」に接続します

#### ● 無線LAN内蔵のパソコンを使用している場合

「Q&A」(P.21~)をご覧のうえ、Windows XPの「ワイヤレス ネットワーク」でESSID「corega」に接続します

#### ● 他メーカーの無線LANアダプタを使用している場合

お使いの無線LANアダプタの取扱説明書をご覧のうえ、付属のソフトウェアでESSID「corega」に暗号化なしで接続します

### 有線接続

パソコンと本商品をLANケーブルで接続します

### 注意

無線LANアダプタまたは無線LAN内蔵のパソコンを複数お持ちの場合は、はじめの1台のみ「かんたんルータセットアップ」を行ってください。

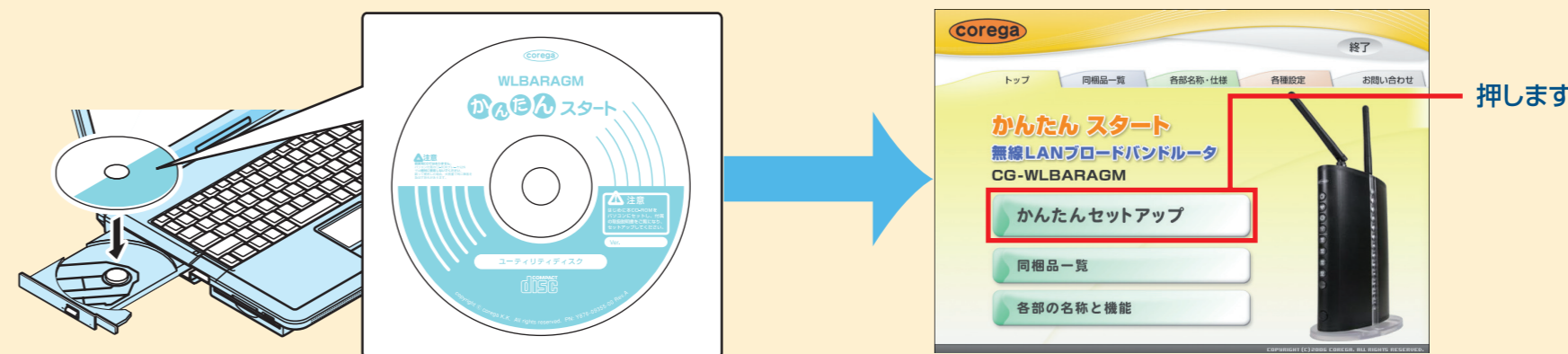
接続できたら、**③「かんたんスタート」CD-ROMをパソコンに入れますへ進みます**

## 3 「かんたんスタート」CD-ROMをパソコンに入れます

「かんたんスタート」CD-ROMをパソコンに入ると、自動的に次の画面が表示されます(しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください)。

パソコンのCD-ROMドライブに「かんたんスタート」を入れます。

「かんたんセットアップ」ボタンを押します。

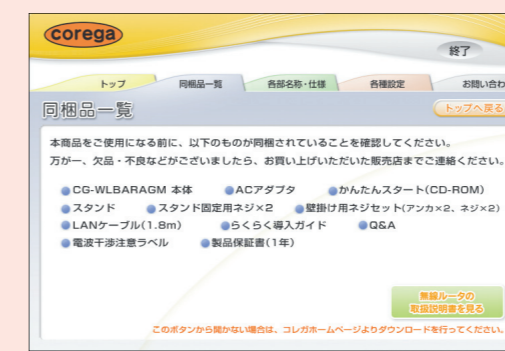


### 注意

ウイルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンに入っている場合は、CD-ROMが起動しない場合があります。一時的に上記ソフトを停止後、CD-ROMを起動してください。なお、ソフトウェアの停止方法については、各ソフトウェアメーカーにお問い合わせください。

### 同梱品一覧

同梱品一覧をご覧になれます。



### 各部の名称と機能

各部の名称と機能や、製品仕様などをご覧になれます。



裏面に続きます



# 4 無線ルータに自分の環境を登録します

「かんたんルータセットアップ」ボタンを押し、表示された画面にしたがって次のように手順をすすめていきます。

**1** 「かんたんルータセットアップ」ボタンを押します。

**2** 無線通信が確立されていることを確認の上、「はい」を押します

**3** 「基本設定」ボタンを押します。

**4** 「次へ」ボタンを押します。

**5** 「検出しました」と表示されたら、「次へ」ボタンを押します。

**6** ルータ機能の「ON/OFF」を選択し、「次へ」ボタンを押します。

**7** 検出された回線種別ごとに、それぞれ次のように手順をすすめます。

**「PPPoE 接続」の場合**

「接続ユーザーID」と「接続パスワード」を入力します。NTTのフレッツ・スクウェアを利用する場合は「フレッツ・スクウェアの設定」ボタンを押し、それ以外の場合は「次へ」ボタンを押します。

①「接続ユーザーID」を入力します

②接続パスワードを入力します

NTTのフレッツ・スクウェアを利用する場合

NTTのフレッツ・スクウェアを利用しない場合

フレッツ・スクウェアの設定をしたら、「次へ」ボタンを押します。

設定内容確認 (PPPoE 接続)

以下の内容が設定されていますか？

接続ユーザーID: XXXXXXXXXX

接続パスワード: XXXXXXXXXXXX

フレッツ・スクウェア: NTT東日本

「次へ」ボタンを押します

次の画面が表示されたら、「次へ」ボタンを押します。

設定内容確認 (PPPoE 接続)

以下の内容が設定されていますか？

接続ユーザーID: XXXXXXXXXX

接続パスワード: XXXXXXXXXXXX

フレッツ・スクウェア: NTT東日本

「次へ」ボタンを押します

接続事業者やサービス内容によって、使用するモデムにルータ機能が搭載されているもの、搭載されていないものがあり、モデムの種類に合わせて本商品のルータ機能のON/OFFを切り替えていただく必要がありますので、次の表をご参照ください。

※一部サービスで、モデムまたはIP電話機にルータ機能が搭載されている場合があります。その場合は、この画面で「ルータ機能」をOFFにしてください。

該当接続サービス名(一例)	本商品の設定
NTT東日本/西日本(Bフレッツ/フレッツ・ADSL)	ON (※一部サービスにより「OFF」)
東京電力(TEPCOひかり)	ON (※一部サービスにより「OFF」)
ケイ・オプティコム(eoホームファイバー)	ON
九州通信ネットワーク(BBIQ)	ON (※一部サービスにより「OFF」)
USEN(GyaO 光)	ON (※一部サービスにより「OFF」)
Yahoo! BB	ON (※一部サービスにより「OFF」)
CATV各社サービス	ON (※一部サービスにより「OFF」)
NTT西日本(フレッツ・光プレミアム)/イー・アクセス/アッカ・ネットワークス	OFF
その他ADSL-FTTH接続サービス	ON (※一部サービスにより「OFF」)

次のような場合はご契約いただいたプロバイダまたは回線業者にご確認ください。

- モデムにルータ機能が搭載されているかわからない場合
- ご契約中の接続サービス名が上の表に記載されていない場合

**「DHCP接続」の場合**

次の画面が表示されたら、「次へ」ボタンを押します。

設定内容確認 (DHCP 接続)

お預めの情報は DHCP です。「次へ」を押してください。

「次へ」ボタンを押します

**8** ユーザIDの欄に「root」と入力し、「次へ」ボタンを押します。

ログイン

ルータのユーザーIDと、パスワードを入力してください。

root と入力してください

空欄のままにします

「次へ」ボタンを押します

**9** 青いボタンを押してインターネットが正しく接続されるか確認したら、「終了」ボタンを押します。

設定完了

このボタンを押してインターネット接続の確認をします

「終了」ボタンを押します

※1、※2

**「回線種別が検出できません」と表示された場合**

5分ほど時間をおいてから再度同じ手順を行ってください。再び「回線種別が検出できません」と表示された場合は、付属の「Q&A」の「ルータの設定ができない」をご覧ください。

※1. すべての手順が完了した後、セキュリティ強化のため手順8で設定した「ユーザーID」と「パスワード」を変更することをおすすめします。設定方法については、コレガホームページより「取扱説明書」をダウンロードしてご覧ください。

※2. 必要に応じて付属の「Q&A」をご覧ください。

- 他にも無線LAN内蔵パソコンなどをお使いの場合 → P.21
- 無線セキュリティ(暗号化)の手順 → P.16
- 無線対応ゲーム機、他社の無線LANアダプタについては → P.21、24

## その他の設定方法

### ■「かんたんスタート」CD-ROM を使わない場合

- 本商品に接続したパソコンで、Internet ExplorerなどのWebブラウザを起動します。
  - Webブラウザのアドレス入力欄に「192.168.1.1」と入力し、キーボードの「Enter」キーを押します。
  - ユーザ名とパスワードを入力する画面が表示されたら、ユーザ名の欄に「root」と入力し、パスワードは何も入力せずに「ログイン」ボタンを押します。
- ユーザ名: root
- パスワード: (空欄)
- ①入力します
- ②空欄のままにします
- ③押します

### ■「ユーザーID」と「パスワード」の変更方法

- 「ユーザーID」と「パスワード」を変更する場合は、左記の「■「かんたんスタート」CD-ROMを使わない場合」の手順①～③を行った後、画面左側のメニューから「管理」を選択し、「管理者ログイン名」、「管理者ログインパスワード」、「パスワードの確認」をそれぞれ入力し、「設定」ボタンを押します。
- ①「管理」を選択します
- ②入力します
- ③「設定」ボタンを押します
- 

### ■さらにルータの機能を使いたい場合

- ダイナミックDNSやバーチャルサーバなどのルータの機能を使いたい場合は、「取扱説明書」ボタンを押して「詳細設定ガイド」をダウンロードし、画面左側のメニューから設定したい項目を選択します。
- ①「取扱説明書」ボタンを押します
- ②設定したい項目を選択します
- 

## 製品仕様

■CG-WLBARAGM

サポート規格	無線LAN (国際規格) IEEE802.11a/IEEE802.11g/IEEE802.11b/IEEE802.11n / (国内規格) ARIB STD-T66/STD-T71
取得承認	無線LAN IEEE802.3u (10BASE-T) / IEEE802.3 (10BASE-T) / IEEE802.3u (10BASE-T) / IEEE802.3 (10BASE-T) / IEEE802.3x (Flow Control)
推奨ブラウザ	VCCIクラスB、技術基準適合証明 Internet Explorer 5.5以上
無線LAN仕様	周波数帯域 IEEE802.11a (W52/W53)   5.180GHz～5.320GHz (中心周波数表示)   IEEE802.11g/b   2.412GHz～2.472GHz (中心周波数表示)
チャンネル数	IEEE802.11a (W52/W53)   8ch (36/40/44/48/52/56/60/64ch)   IEEE802.11g/b   13ch (1～13ch)
伝送速度	IEEE802.11a/g   54/48/36/24/18/12/9/6Mbps   IEEE802.11b   11/5.5/2/1Mbps
伝送方式	OFDM (直交変調変数周波数分割多重変調方式)、DS-SS (直接拡散型スペクトラム拡散方式)
通信モード	Infrastructure (アクセスポイントモード)
アンテナ形式(タイプ)	固定式ダイポールアンテナ×2 (2×1MISO方式)
セキュリティ	ESSID (IEEE802.11 ID (文字列)による識別)、WEP (64/128bit)、WPA-PSK (パーソナル)、WPA-EAP (エンタープライズ: IEEE802.1x認証)、WPA2-EAP (エンタープライズ: IEEE802.1x認証)、TKIP/AES (WPA/WPA2認証方式)、スループアP (ESSID/暗号、ANY暗号)、MACアドレスフィルタリング、無線端末への接続制限、無線端末間の通信の有効/無効
WAN仕様	規格 100BASE-TX/10BASE-T, Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション、手動設定
ポート	RJ-45×1ポート (MDI/MDI-X自動認識、手動設定)
LAN仕様	規格 100BASE-TX/10BASE-T, Full Duplex/Half Duplexオートネゴシエーション
ポート	RJ-45×4ポート (全ポートMDI/MDI-X自動認識)
電源部	本体 最大消費電力: 3.9W
ACアダプタ	定格入力電圧: AC100V (60/50Hz) / 定格入力電流: 300mA
動作時	動作時 温度: 0～40℃ / 湿度: 90%以下 (結露なきこと)
動作時	動作時 温度: -20～60℃ / 湿度: 95%以下 (結露なきこと)
環境条件	動作時 湿度: 20～80%RH (結露なきこと)
外形寸法	41 (W) × 113 (D) × 152 (H) mm 本体のみ (アンテナ、突起部を含みます)
質量	270g 本体のみ

## 工場出荷時の設定

■CG-WLBARAGM

管理者設定	ユーザ名 root	パスワード (設定なし)
ネットワーク設定	IPアドレス 192.168.1.1	サブネットマスク 255.255.255.0
ワイヤレス基本設定	通信モード Infrastructure	ESSID corega
	チャンネル 自動設定	暗号化 無効
	802.11モード 802.11g/b 有効	

おことわり

- 本機は、株式会社コレガが作成したもので、全ての権利が弊社に帰属しています。弊社に無断で本機の一部または全部をコピーすることを禁じます。
- 予告なく本機の一部または全部を修正・変更することがあります。
- 改修のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

5GHz帯を屋外で使用する場合は電波法により禁止されています。IEEE802.11aは屋外で使用することはできませんのでご注意ください。

この装置は、情報処理推進機構電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本装置は、GNU General Public License Version 2にに基づき提供されるソフトウェアのソースコードを含んでいます。これらのソースコードはフリーソフトウェアです。お客様は、Free Software Foundationが定めたGNU General Public License Version 2の条件に従ってこれらのソースコードを再頒布または変更することができます。これらのソースコードは有用ですが、頒布にあたっては、市況及び特定の用途性についての断絶の保証を含めて、いかなる保証も行いません。詳細については、添付CD-ROMの GNU LICENSE.PDFをお読みください。なお、ソースコードの入手をご希望されるお客様は、弊社ホームページ、サポート情報内の個別製品の「ダウンロード情報」をご覧ください。配布時に発生する費用はお客様の負担となります。

Copyright © 2008株式会社コレガ  
coregaは、株式会社コレガの登録商標です。Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよびハードウェアの名称は各メーカーの商標または登録商標です。

2008年5月 初版